

平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 5-3 局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	スマートハウス化支援事業	事業費(千円)	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額	
				104,875	181,932	
事業概要	【目的】 2015年1月13日変更 エネルギー利用の効率化、最適化による低炭素型住宅実現や非常時に備えた電源確保等を図ることで、住宅における安全・安心、効率的なエネルギー利用の実現をめざすことを目的とし、「クールシティ・堺」の実現に向け、次世代型の住宅であるスマートハウスを市内へ普及させる。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
	【内容】	(単位:千円)				
	・戸建住宅 太陽光発電システム(PV)と住宅用エネルギー管理システム(HEMS)の両方を設置した方に、設置費の一部を補助する。さらに、これらの設置を条件に、燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)、蓄電池システム[又はビークル・トゥ・ホームシステム(V2H)]を追加して設置した場合にも設置費の一部を補助する。 ・集合住宅 アグリゲータによる集合住宅への住宅用エネルギー管理システム(HEMS)設置に対して、設置費の一部を補助する。	項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等	
		スマートハウス化支援事業	102,625	101,250	太陽光: 900件 * 25,000円*4.5kW	
				35,000	HEMS: 25,000円*1,400件 ※補助率を4分の1から2分の1へ。 上限額を5万円から3万円へ。	
				30,000	エネファーム: 100,000円*300件	
				12,000	蓄電池: 150,000円*80件	
				1,500	V2H: 150,000円*10件	
			短期臨時職員賃金	1,940	2,017	1人
			消耗品費	149	56	
		印刷製本費	100	0		
		通信運搬費	61	109		
		合計	104,875	181,932		
		スケジュール(経過及び今後展開)				
		【経過(～26年度)】	【27年度】	【今後予定(28年度～)】		
		平成26年度10月から補助制度開始・運用	引き続きスマートハウス化支援事業継続	補助件数の推移などに基き事業展開を検証		
		その他 特記事項				
		みんなの審査会対象外 関連事業: まちなかソーラー発電所推進事業、熱エネルギー利用促進事業				
	【今年度要求のポイント】 ・HEMS及び蓄電池の設置に関し、下記のとおり支援を拡充する。 ①集合住宅でのHEMS設置を支援(新規)。戸建住宅(PVとの併設が要件)と合わせて1,400件の導入をめざす。 ②HEMS設置の補助率を4分の1から2分の1へ、上限額を5万円から3万円へと変更。 ③蓄電池については、導入にかかる初期負担が少ないリース案件に対しても対象を拡大。 ・市場価格の動静を踏まえ、エネファームの補助上限額を15万円から10万円に変更。					